

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 1

(平成17年2月分)

号 機	2号機	定 期 検 査	第7回定期検査
件 名	主蒸気隔離弁のスタンションおよびボルトの傷について		
月 日	平成17年2月4日(金)	発 生	発 見 確 認

場 所	原子炉建屋	設 備	主蒸気隔離弁	設備区分	安全上重要な系統
設備概要	主蒸気隔離弁は、原子炉から発生した蒸気をタービンへ導く配管4本(主蒸気配管)に設けられている弁です。原子炉格納容器の内側と外側それぞれに4台ずつ(計8台)設置されており、主蒸気配管から主蒸気が漏えいした場合等に隔離する機能をもっています。				
所 見	・主蒸気隔離弁の分解点検において、主蒸気隔離弁スタンションの廻り止め溶接部(1本に2箇所の溶接)の浸透探傷検査を行ったところ、3Aの弁において、4本あるスタンションのうち1本に1個の傷(長さ約12mm)が確認されました。この傷は、弁の機能に影響を与えるものではありませんが、傷の認められた箇所については、補修いたしました。(9日) ・また、主蒸気隔離弁3Bの弁体のボルト4本を取外したところ、4本のうち1本に、ねじ山の損傷を確認しました。損傷の確認されたボルトは新品と交換しました。(15日) スタンションとは、パイロット弁(小弁)用スプリングを固定しているネジ。				
	主蒸気隔離弁概要図  				